

学習したことを生かして

「モチモチの木」

齋藤

隆介

めあて

「モチモチの木」を読んであらすじをつかもう。

「モチモチの木」ってどんな木だろう

おもちができる木

やわらかい木

おもちみたいにのびる木

絵をならべてみよう

著作権の関係で掲載できませんが、ここには教科書62～73ページの7枚の挿絵をA4程度 of 用紙に拡大して掲示します。

かんそう

・ どうして「モチモチの木」っていうんだろっ。

・ 豆太はおくびょうなのに、灯のともったモチモチの木をどうして見ることができたんだろっ。

学習すること

「モチモチの木」を読んで、読書発表会をしよう。

1 / 16 時間目 指導略案

使用するワークシート…

活動のねらい

初発の感想を交流させ、学習の課題を決めることができる。

1 「モチモチの木」の題名から、どんな話を想像する。

題名から物語の内容を想像させることで、物語に興味をもたせる。

【発問】モチモチの木ってどんな木だと思いますか。

2 「モチモチの木」の読み聞かせを聞く。

民話風の語り口を楽しめるように読み聞かせを行う。

3 おおまかなあらすじをつかむ。

自分で全文を読む。

挿し絵の並び替えをする。

4 心に残った場面を中心に、初発の感想を書く。

心に残った場面を中心に、言葉や文を書き出して、感想をワークシートに書くように指示する。

5 感想を交流し、学習課題をもつ。

感想や疑問などを交流させながら、豆太の行動や場面の様子など、詳しく読んでいく必要性を感じさせ、学習課題をもたせる。

* 読書発表会については、昔話への読み広げを考えて、教師側から提案する形をとるとよいでしょう。他にも、教科書では、学習発表会が例示されています。ここでは、読書発表会を設定していますが、どのような言語活動を取り上げるかは、児童の実態に応じて、決めてください。

学習課題

「モチモチの木」を読んで読書発表会をしよう

評価 「モチモチの木」に興味を示し、意欲的に教材文を読んだり、感想を書いたりする。